

秀次倶楽部

2017.9
秀次倶楽部
会報
vol.24



発行：NPO法人 秀次倶楽部 滋賀県近江八幡市大杉町30-1 TEL(0748)33-2914 / FAX(0748)32-3514(ラビットハウス内) / E-mail club@hidetugu.jp

《事業報告》 ●総会報告

2月5日(日)、グリーンホテルYES近江八幡内の「是的菜館」にて、本年度の総会が開催されました。まず、昨年度の事業、決算について報告があり、審議の上全会一致で承認されました。引き続き、本年度の事業計画と予算について協議頂きました。「西の湖と葦を学ぼう」について今回は、国際交流関係のボランティア団体の皆さんを対象とした内容を考えているとの報告がありました。また、2年ほど前に京都で発見された秀次の墓石を見学すること、秀次が八幡に入った日を記念として何か事業が出来ないかなどの提案があり、今後検討していくことで協議を終了しました。総会終了後には、近江八幡市立資料館の館長、前坂雅春氏に昨年の「秀次公特別展」を振り返ってのお話を頂きました。その後、懇親会へと移り楽しいひと時となりました。



近江八幡市立資料館 館長 前坂 雅春氏

●体験イベント 「西の湖と葦を学ぼう」

参加者大募集! 6月17日(土) 参加無料

「西の湖と葦を学ぼう!」 ヨシ笛コンサート

6月5日(日) 10:00～12:00

◆開催場所：ひびこ酒造の酒蔵

◆参加費：大人1,000円、小学生以下500円

◆申し込み：6月5日(日) 10:00～12:00

◆申し込み先：NPO法人秀次倶楽部

◆申し込み方法：お申し込みは、お電話またはお申し込み用紙をダウンロードしてご記入の上、お申し込みください。

◆申し込み先：NPO法人秀次倶楽部

◆申し込み方法：お申し込みは、お電話またはお申し込み用紙をダウンロードしてご記入の上、お申し込みください。

◆申し込み先：NPO法人秀次倶楽部

◆申し込み方法：お申し込みは、お電話またはお申し込み用紙をダウンロードしてご記入の上、お申し込みください。

●研修旅行(山形県山形市)
8月27日(日)～28日(月)の日程で、駒姫の故郷山形県山形市を訪れました。8名の参加です。山形駅に着いて昼食を済ませた後、調査復原整備が進められている山形城跡を散策しながら、山形市郷土館に入りました。明治に建てられた病院で現在は主に医療に関する歴史的な資料が展示されています。中庭を中心とした円形状の建物で、明治初期の擬洋風建築の傑作だそうです。しばらく城内を散策した後、最上



●会費納入について
今年度の会費が未納の方は、至急に事務局にお持ちいただくか、左記に振込んでください。なお、昨年の会費についても未だの方は二階にお願いします。

「振込み先」
滋賀中央信用金庫(店番) 180
(口座番号) 0221141
特定非営利活動法人 秀次倶楽部
理事長 高木茂子



●7月15日 秀次公法要

八幡山瑞龍寺門跡寺院で秀次公法要実行委員会(実行委員長森島篤雄氏)によって法要が執り行なわれました。秀次倶楽部より高木理事長が参列し、実行委員メンバーとして西川秀夫さん、西村喜一さんが運営され無事厳かに執り行なわれました。(写真 京都善正寺ご住職)



6月17日(土)に、体験イベント「西の湖と葦を学ぼう」を開催しました。今回は日本在住の外国人の方の参加も多く、国際色豊かな一日となりました。



義光歴史館を見学しました。ロビー正面の義光と駒姫の人形をはじめ、義光を中心とした最上氏の歴史資料がたくさん展示されています。参加された皆さんは各々に館員の方の説明を熱心に聞かれました。この日最後に入ったのが、山形県旧県庁舎の文翔館でした。閉館まで30分と短い時間でしたが、館員の方の案内で見学しました。これもレンガ造りの大変すばらしい建物で、現在は修復工事を終え、一般に公開するとともに、議場やギャラリーなどの貸出しも行われています。2日目には、駒姫の墓がある「専称寺」を訪れました。昭和50年代に建てられた新しい墓でした。東北といわれる大きな木造の本堂でお寺の方からお話を聞くことが出来ました。続いて、義光の菩提寺である「光禅寺」に立ち寄り、義光ら三代の墓にお参りしました。もう一か所と思っていましたが、時間がきてしまいました。昼食に美味いそばを頂いて帰路につきました。今回は時間も十分に取れず、行き当たりばつたりの研修旅行となりました。参加されました皆さん、大変お疲れ様でした。山形市内でもまだまだ見どころはたくさんあるようです。また機会があれば、ゆつくりとあちこち散策してみたいところ